

(3)

2015年(平成27年)

7月 17日 (金曜日)

夕刊

平成17年9月6日大水害

あれから10年

>19<

教訓は生かせるか…

パネルディスカッション

「災害の教訓を生かす」 自助・共助・公助」

【杉尾】図師部長、宮崎県の被害の状況とか対応状況について教えてください。

【図師】台風14号は、土砂災害、浸水被害、道路の災害など、たくさん被害が出ています。日之影町の日之影小学校付近、上稚葉の鶴富屋敷のすぐそば、宮崎市の鰐塚山にある別府田野川で土石流、三股町で崖崩れなどが発生しました。

あのとき、県全体で亡くなられた方が13人。そのうち11人が土砂災害で亡くなられたというところで、土砂災害が起きると人命への



図師雄一氏

土砂崩れ、県内で13人死亡

日之影町8戸全壊も、避難直後で無事

防の皆さま方をはじめ、コミュニケーションを取っていただいており、この時も、消防団の方を中心に避難誘導して、結果的に避難が全部終わってしましました。

日之影小付近の土石流では人家が8戸ほど流されて全壊しました。しかし、人命の被害は全く出ておりません。これは普段から消

ただ、土石流のすぐ脇には日之影小の体育館があり、実はここに50人ぐらい避難されていたんですね。ですから、危機一髪の状態でした。なので、避難場所をしっかりと保全する、あるいはもっと安全なところに設定するということが大きな課題かなと思っています

宮崎市中心部、都城、小林などの幹線道路は被災後3日程度で通れるようになったんですが、いかんせん県北の

【森川】皆さんの話



洪水と土砂災害で交通網は寸断された(平成17年9月7日、美郷町西郷の田代地区)

ていたわけです。自分の管轄するところは幸い大きな被害が出なかったんですが、やはり宮崎の方にずっとレーダー雨量が停滞していて、これは大変だな、災害になるなどというふうに思っていました。

コーディネーター
杉尾哲(宮崎大学名誉教授)
パネリスト

首藤正治(延岡市長)
図師雄一(宮崎県県土整備部長)
大塚法晴(元延岡河川道事務所長)
森川幹夫(九州地方整備局河川部長)
猪狩信浩(NPO法人宮崎県防災士ネットワーク理事長)
福島宏一(元延岡市消防団長)
亀長馨(元北方町川水流区長)

防災・減災を考える
シンポジウムから――